

台湾注目の異才 ^{コッ}黄インイク監督最新作!!



☆「緑の牢獄」上映会&監督対談! 参加無料

会場: 大和大学理工学部棟 D302教室

日時: 2022年10月30日(日)13時~16時

登壇者: 黄インイク (『緑の牢獄』監督)

坂田勝彦(群馬大学教授)



緑の牢獄

GREEN JAIL

申し込みは右上QRコードから必要事項を入力してください

主催: 大和大学『緑の牢獄』上映実行委員会

連絡先: yamato.221030@gmail.com

住所: 〒564-0082 大阪府吹田市片山町2-5-1



緑の牢獄

GREEN JAIL

【1.開催趣旨】

台湾と八重山諸島の交流の歴史は長く、とりわけ植民地期の二つの社会圏は折り重なりあっていました。たとえば、観光地として有名なあの西表島には炭坑があり、そこで多くの台湾人が働いていました。炭坑で育ち、戦後も西表島に生きた一人の台湾人女性の人生を描き出した『緑の牢獄』は、私たちに様々に問いかけてきます。また、監督と坂田勝彦さんの貴重な対談が、私たちの理解をより深めてくれます。

皆様のご来場をお待ちしております。

——蘭信三(大和大学社会学部教授・科研研究費「ポストコロニアルを聞きとる」研究代表)

【2.あらすじ】

「南の果て、西表島に生きた台湾人女性のアンサクセス・ストーリー」。

沖縄を拠点として活動する黄インイク監督が七年間の歳月を費やした渾身の一作『緑の牢獄』。

熱帯林に囲まれ「秘境」と呼ばれる西表島。島には人知れず眠る巨大な「炭鉱」があった。廃坑を無秩序に覆う緑、そこを住処とするイノシシの群れ、そして廃坑を見つめる90歳の老女——橋間良子。10歳で父に台湾から連れられ、人生のほとんどをこの島で過ごした彼女は、たった一人で誰もいない家を守る。

【3.対談者紹介】

監督【黄インイク / 黄胤毓/Huang Yin-Yu監督プロフィール】

1988年、台湾・台東市生まれ、沖縄在住。台湾・政治大学テレビ放送学科卒業、東京造形大学大学院映画専攻修士課程修了。2016年、戦前からの台湾移民や日台間の歴史などをテーマにしたドキュメンタリー映画シリーズ「狂山之海」の第一部として『海の彼方』が台湾・日本で劇場公開。2021年、『緑の牢獄』が大坂アジア映画祭にてプレミア、台北映画祭「国際新人監督コンペティション」、台北映画賞にノミネート、キネマ旬報「文化映画ベストテン」に入選。なお、書籍版は、台湾の年間優秀図書に贈られる「Openbook好書奨2021」の「中国語創作部門」を受賞。



聞き手【坂田勝彦氏プロフィール】

1978年生まれ、群馬大学情報学部教員。専門は社会学(地域社会学、社会問題論)、生活史(ライフストーリー)から、近現代日本におけるハンセン病問題および石炭産業と産炭地の戦後史研究を進めている。主な研究業績は『ハンセン病者の生活史—隔離経験を生きるということ』(青弓社、2012年)、「炭鉱の閉山に伴う広域移動経験者のライフストーリー」(『日本オーラル・ヒストリー研究』、2017年)など。



日時 : 2022年10月30日 13時～16時(上映会100分、対談70分)

開催会場: 大和大学理工学部棟3階 D302教室

参加人数: 先着100名様 **参加無料!**

申込方法:

①右記QRコードを読み取り、Googleフォームに必要事項を入力して送信ください。

②下記メールアドレスに名前・所属・電話番号をご記入のうえ送信ください。



連絡先: yamato.221030@gmail.com

(大和大学「緑の牢獄」上映会実行委員会)

会場: 大和大学理工学部棟3階 D302

〒564-0082 大阪府吹田市片山町2-5-1

①JR吹田駅 徒歩9分 ②阪急吹田駅 徒歩10分

